令和6年８月１日

越谷保育専門学校
校長　美入　昌男

令和6年度　学校関係者評価委員会報告書の公表について

学校関係者評価委員会による、本校の「令和６年度第１回学校関係者評価委員会報告書」を公表します。

なお、本校の学校関係者評価で使用した自己評価報告書の様式は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が作成した文部科学省ガイドライン準拠版Ver4.0を使用しました。

令和６年８月１日

越谷保育専門学校
校長　美入昌男様

越 谷 保 育 専 門 学 校
学校関係者評価委員会
委員長　曽野　麻紀

令和６年度　第１回学校関係者評価員会報告

令和６年度第１回学校関係者評価委員会において実施した「令和５年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

１　学校関係者評価委員会委員名簿

委員長：曽野麻紀委員

池田　祥子	社会福祉法人杉の子保育会　評議員
植竹　清文	学校法人植竹学園　理事長
須田　俊弥	埼玉県立越谷東高等学校　校長
曽野　麻紀	十文字学園女子大学　人間生活学部幼児教育学科　准教授
豊田　正一	元埼玉県吉川市立中央中学校長 吉川市教育委員会スクールソーシャルワーカー
野口　和幸	株式会社クラブキッズ ＮＰＯ法人地域こども包括支援センター
宮崎　大輔	株式会社みらいコンチェルト　代表取締役

（五十音順）

２学校側事務局

美入　昌男	学校法人ワタナベ学園理事長兼越谷保育専門学校長	
渋谷るり子	越谷保育専門学校教務部学科長	
古塩　秀明	同	事務長
会田　秀樹	同	参与
東海林　孝	同	参与
佐々木　優美	同	専任教員

３　委員会開催状況

⑴日　　時　令和６年７月１日（月）午前９時 15 分～午前 11 時 30 分

⑵会　　場　越谷保育専門学校　201 教室

⑶参加委員　出席：上記委員７名　　学校側事務局：６名

4　委員会次第

開会

（１）委嘱状交付

（２）校長挨拶

（３）委員紹介

（４）議長選出

（５）協議

5-1　学校関係者評価の進め方の説明

5-2　令和５年度「自己評価報告書」の説明とその評価

5-3　「令和５年度自己評価報告書」に対する評価の実施

5-4　その他

（６）授業見学

（７）授業見学の感想と意見

（８）その他

8-1　今後の予定

8-2　事務連絡

閉会

５　学校関係者評価結果

別紙のとおり

別紙

令和６年度越谷保育専門学校　第１回学校関係者評価報告書

令和６年８月１日

１　委嘱状交付

２　校長挨拶

校長より挨拶及び、令和 6 年度事業計画にもとづき説明があった。詳細は、「自己点検評価」による。

３　委員紹介

順に自己紹介を行った。

４　議長選出

美入校長より曽野委員長に議長をお願いすることとなった。

５　協議

⑴　学校関係者評価の進め方の説明

学校概況報告も含め､「令和５年度自己点検評価報告書」より１学校の理念、２令和５年度の重点目標と達成目標の報告説明が行われた。基準 1.2、基準 5-17 については校長、基準 3 については渋谷、基準 4.5 については会田、基準 7 については東海林から説明があった。

⑵　「令和５年度自己評価報告書」に対する評価等の実施

ア　学校の理念、教育目標　：　特に指摘事項なし

イ　本年度の重点目標と達成計画　：　特に指摘事項なし

ウ　基準１　教育理念・目的・育成人材像　：　特に指摘事項なし

エ　基準２　学校運営　：　特に指摘事項なし

オ　基準３　教育活動

授業時間の関係で、協議事項の後半で授業見学を実施

意見については、後記している。

カ　基準４　学修成果　：　特に指摘事項なし

4-13　就職率

（学校）昨年度の求人数は 6,226 名であった。ここ 3 年間を見てみるとほぼ同数。認定こども園と幼稚園の割合が少し変わった。今は 6 割ほどが保育園に就職している。学生の 75%は埼玉県からきているので埼玉県内での就職が多い。今年度、東京都から来た学生は 1 名である。千葉県と茨城県からの学生もいるが、千葉からの学生が減ってきている。越谷市内の学生は 20%ほど。45%は越谷、吉川、三郷、草加、松伏である。

キ　基準 5　学生支援

5-17　中途退学への対応

（学校）退学者はできれば 0 %で抑えたいが、どうしても 5 %程度までは増えてしまう。朝会で学生情報を共有しながらサポート、早期指導を行っている。アルバイトをしている学生が多く、アルバイトによる生活の乱れがある。その影響で授業中に寝てしまう。

（委員）親の協力が得られない子どもは出身校にサポートを得られないか。

（学校）ヒントは高校にないのか、訪問してうかがってはいるが、つまずいた学生はなかなか全てを把握するのは難しい。問題として挙がってこない。入学してから何があったのかということはわかりづらい。

（委員）保護者会の出席率を高めるのになにか工夫はしているか。

（学校）高等教育機関で授業参観を行っている学校はほとんどない。その際に学校について知ってもらい、募集につながればと考えながら行っている。

（委員）何かあればすぐに Web サイトを見ている。実際に学校へ足を運ぶことはハードルが高いと感じる。どこにいてもすぐに情報にアクセスできる環境が大切。

（委員）授業見学はないが、就職関係の説明会を行ったら興味のある保護者は参加した。熱心な保護者は機会があれば来ようとする。家庭を含めて連絡が取れない学生もいる。教員も疲弊してしまう。Instagram や X を誰がやるの？となる。

ク　基準 6　教育環境　　：　特に指摘事項なし

ケ　基準 7　学生の募集と受け入れ

7-25　学生募集活動

（学校）数年間を振り返ると、2021～2022 年度はコロナでオープンキャンパスを実施できなかった。2022 年度は完全予約制個別相談という形で行い、委託訓練生の受け入れを再開した。2023 年度はオープンキャンパス

と学校説明会を再開した。委託訓練生は見学生以上の入学があった。2024 年度はオープンキャンパスの来場者が昨年度と変わらなかったものの、入学者が少なかった。専門の業者からは問題なしとの評価をもらったが、指定校での入学者の大きな減少があった。

2025 年度に向けては進学ガイダンスとして高校訪問の頻度を増やしており、出張授業にも積極的に行っている。先週の金曜日には足立区からの依頼があった。定員の 8 割の充足率を目指したい。学校案内は 4,000 部を準備している。

（委員）指定校からの入学者が減少しているという話があったが、他校の調査は行っているのか。また、学校の先輩たちの生の声を聞く機会がとられているか。

（学校）保育系の専門学校の話を聞く。減少の大きな原因としては、千葉県など県外の学生の入学が減っていることだと推察される。例年複数名きた学校からの今年度の入学者は 0 名であった。学校説明会やオープンキャンパスでは在校生との関りを持たせ、生の声を伝えている。関わりを持たせている。

（学校）少子化の影響で高校の統合などが起こり、大変厳しい状況である。委託訓練生もだいぶ減っている。進路選択のミスマッチやマスコミの影響もあると考えられる。また、なかには給与面で心配している人もいる。

（委員）同じエリアで募集を行っているのか？昔は福島などからも学生が来ていたので、活動するエリアを広げてはどうだろうか。予算の立て方を変えて、効率の良いネット関係に力を入れていくとよいのではないか。

（委員）公式のＳＮＳがある学校もあるが、本学では行っていない。広く発信していってはどうだろうか。

（委員）高校生が減っており、女子大そのものや保育系が閉鎖している。根本的な部分、土台はここである。

コ　基準 8　財務　　・特に指摘事項なし

サ　基準 9　法令等の遵守　　・特に指摘事項なし

シ　基準 10 社会貢献・地域貢献　　・特に指摘事項なし

6　授業見学

科目	（教室）	（授業担当者）
子どもの発達と造形表現Ⅰ	(2 階図工室 1A)	森高光広
教育原理	(2 階 204 教室 1B)	元木廉
保育実習指導	(3 階 301 教室 2A)	相川怜美
子どもの総合表現	(4 階 401 教室 2B)	横関由紀

7　授業見学の感想と意見

（委員）時事ニュースとり入れており、現代の教育という気がした。

（委員）知っている学生が 2 人ほどおり、よく成長したなと感動した。

今年の 1 年生の中に、通信制の学生が多いと思う。成長に期待したい。

8　その他

(1)今後の予定

(2)事務連絡

閉会　協議まことにありがとうございました。競技でのご意見、ご提案、ご提言を今後の学校運営に生かします。次回は 11 月下旬頃に実施します。